(7)

日友好観光交流月in江蘇』」

を 9、

10月の2カ月間

記念の年に、

日本の

交流を深め

中国の江蘇省旅遊局と中国国家観光局駐日本代表処

「日中国交正常化45周年記念スペシャル企画『中

にわたり同省4都市で開催する。

催しが行われる。

4都市の魅力とともに、

地元の観光魅力を伝えるさまざまな

ようとの趣旨で、

人々に同省の魅力をさらに知ってもらい、

れるイベントの概要を紹介する。

国交正常化45周年

中日友好観光交流月in



運河と湖の町、蘇州の景観(金鶏湖とビル群)

最高級品とされる。

29の両日、

陽澄湖半島観光

だけ多くの蟹肉を取れるか

専用の道具を使い、どれ

をグループで競争したり、

市内中心に近い

残った蟹の殻で自由な発想

で芸術作品を作り、

その出

2岸に位置し、 南岸の南京

は車で約3時間、

上海と

-30万人の都市。 長江の公河口に位置する人口約

された濠(堀)。中国で最

長江の河畔に位置する標

いる。

の広教寺は唐代の創建。 仏教の聖地で、

現

旧市街の周りに張り巡ら

●濠河風景区

かもし出す。

●狼山風景区

美しく、幻想的な雰囲気を

を一望する。 景区。

南通は江蘇省南東部、長

通

した」と高らかに宣言する。 イベントが正式に始動しま 「中日友好観光月in江蘇

る。夜はライトアップされ、る古代濠の一つといわれ

もよい状態で保存されてい

【主な観光スポット】

ト区などで行う。

題するイベントを10月28

-海蟹を食べましょう」と

くれる。

食べ方がよいのかを教えて

演じ、蟹を食べる時どんな

蟹の身をほじる様子も

「東洋のベニス」の異名







官から失脚した王献臣によ明の時代の政徳年間、高

中国でとれるものの中でも れ、ここでとれる上海蟹は上海蟹の一大産地で知ら 立てて見せてくれる。また、一匹を縛る作業をショー仕 28日は「特別蟹ショー 「蟹娘」が蟹ー の鑑賞も行う。 指の仏教の聖地、重元寺を 来栄えを競う参加体験型の 「蟹コンテスト」も行う。 29日は陽澄湖畔の中国屈

見学。寺の法堂では中国の 古典楽器、古筝(こそう) 【主な観光スポット】

「日中の絆が深まるよう、 陽澄湖の上海蟹を食べましょう

古くから繊維産業が盛ん

上海の近郊にあること

約2時間の距離にある。

ら日系企業の進出も多

台場は南通興東国際空港。 !通市政府と江蘇省観光 への記念品プレゼント、ョンや、航空便で訪れた セレモニー)が行われる。 オープニングのアトラク によるあいさつに続き、 日本からの観光客の代

オープニングセレモニーで イベントの開始を宣言

好都市締結をしている。

、和泉市(大阪府)と 日本とは豊橋市

(愛知

南通では

9月

10月

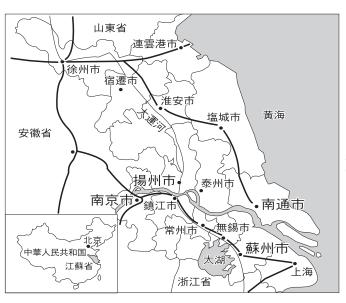
귶

[友好観光交流月in江

」の開幕式(オープニン



狼山風景区



一城一塔一河· 中友好博愛の旅」

さらに近年は釈迦の本物の 王義」の遺構が残る南京。

体験といった、地元の文統文化体験、漢服の着付

を用意している。

●大報恩寺遺跡公園 【主な観光スポット】 を肌で感じられるイベント

(孫中山)が唱えた「博愛

寺院という大報恩寺の見

中国で2番目に古い仏教

学、書道や切り紙などの伝

近代民主主義の祖、孫文

ス博愛の旅」と題するイベ

「一城一塔一河・日中友

る。

イベントは、この仏舎がぜん注目を集めてい

大報恩寺遺跡公園

江蘇省の省都南京では10

トが行われる。

跡公園で行われる。

利が発見された大報恩寺遺

寺院。番目に長い歴史を持つ仏教 った再建工事と考古物発掘2008年、前年に始ま に見つかった。中でも注目で宋代の財宝や文物が大量

明の初代皇帝、朱元璋と

●明孝陵

鑑真東征、



利の奉安式が行われた。 015年10月に完了。仏舎れている。第1期工事が2 などの発掘物を保存する 仏頂宮」の建設が進めら 大報恩寺遺跡公園ととも

報恩寺で発見された仏舎利

仏教の名山。ここでは大

る遊覧船から眺める、夜の

る。

近年注目されているス

を結ぶ」

寺の境内にある「鑑真学

律を研究。

ーマは「鑑真東征、心と縁霊塔広場)で行われる。テ

中華民国の大統領に就任し ある。 0万人) にちなんだ。 た当時の人口(3億920 る石の棺を安置する祭堂が 段の階段の上に、孫文が眠 392の数字は、孫文が 孫文をまつる陵。392

●中山陵

真ゆかりの寺、 和上ゆかりの場所として有

時の都、長安に向かった。 名だ。また多くの遣唐使が 日本からこの地に渡り、 イベントは10月21日、 大明寺(栖 当 鑑

するイベント 南北朝期宋代の大明年間 【主な観光スポット】

失敗し、この間両眼を失明

院」「鑑真記念堂」を見学し、 か、揚州の文化芸術を観賞 鑑真の偉業を振り返るほ も行われる。 本に渡ることを決意。5回えてほしいと懇願され、日から日本に仏教の戒律を伝 この地に渡った2人の僧侶 ていた742年、日本から 大明寺の住職として務め

とで有名。 **唐代に鑑真が住職をしたこ** 688年、揚州で生まれ

464年)創建。

立され、

「世界七大奇観」

下町にあり、廟の一帯も夫孔子をまつる廟。南京の

蒋介石が執務

した。現在は

を再建している。

繁華街となっている。 子廟と呼ばれる昔ながらの

周囲の小

川、秦淮河を巡

館になってい 近代史の博物

● 牛 首 山

といわれた「大報恩寺塔」

を驚かす大発見となった。

敷地内には明の時代に建

舎利)が入っており、世界 は釈迦の本物の頭蓋骨(仏 骨」などと書かれた宝塔に

された。

●夫子廟

入った宝塔。表面に「仏頂真を集めたのが二重の鉄箱に

鑑真記念堂は鑑真の偉業 珍しい形の橋。 る五亭橋は五つの亭が乗る

学院は、寺が運営する仏教 戒を行った。 の天皇など多くの人々に授 大明寺の境内にある鑑真 唐招提寺で当時 1200年を記念して、1 1200年を記念して、

い景観で知られ、園内にあが、その姿より細長いこと 郊外にある人工湖の公 杭州の西湖に似ている

痩西湖

心と縁を結ぶ」 を積み、僧侶が守るべき戒洛陽、長安(西安)で修行 た鑑真は、14歳の時に出家。

が美しい。 の、 中華民国 辛亥革命後 の臨時政府の ●総統府 孫文や

皇帝墓群」を構成する一つ 003年、「明・清王朝

「明・清王朝の

2

として世界文化遺産に登録

牛首山

の上陸を果たす。以後、没なる悲劇に見舞われながらな するまでの10年間、平城京 の東大寺、

973年に作られた。 ●痩西湖

中国国家観光局駐日本代表処

スタイルを生み出してい形物が一体となった独自の のエリアを展開。自然と造 に中園、東園、西園と三つ

い に再建された。 て造園され、清の同治年間 った徐泰時の個人庭園とし . 拙政園が自然を多く取り 明代の万暦年間、高官だ

銭元僚が造園したという、 唐の時代に呉越広陵王の ●滄浪亭

は多彩な建築物と奇石を多入れているのに対し、留園 く配しているのが特徴。

時代の詩人、蘇舜欽が別在蘇州最古の庭園。後に宋の ●獅子林

天如禅師惟則の弟子が禅師 として手に入れ、改装した。 元の時代、禅寺の高僧、

99個あるという。 られ、獅子の形に似た石が

式の庭園。 拙政園、留園、滄浪亭、 園内は多くの太湖石が飾

遺産に登録されている。 の庭園は「蘇州古典園林」 ●運河

としてユネスコの世界文化

005に及ぶ中国大運界―杭州を結ぶ総延長

時代の61 河(京杭大運河)は、

10年に完成。210年に完成。2

に、五つの山で構成する風高約107別の狼山を中心

市街地と長江の景色

でいる。 など人々の生活に溶け込ん

内は大中小の運河

れ、水路として利用されるが縦横無尽に張り巡らさ 登録された。 4年に世界文化遺産に

狼山頂上